

児童生徒の 学力向上を目指して

埼玉県小・中学校学習状況調査は、県内の児童・生徒が学習内容をどの程度身につけているかを把握し、学習に対する興味・関心などの状況を調べ、課題を明らかにして学習指導の改善を図ることをねらいに、小学校5年生(国語・算数・社会・理科)、中学校2年生(国語・数学・社会・理科・英語)を対象に実施しています。

調査結果分析の概要

▼教科に関する調査結果

本年度は、市内小学校の正答率平均が、県の正答率平均を上回っている教科はありませんでした。

記述式の問題での正答率の低さが目立ちますが、社会以外の教科では5ポイント以内の差に収まっています。

市内中学校の正答率平均も、小学校の結果と同様です。

しかしながら、英語以外の教科では5ポイント以内の差に収まっており、昨年度と比べると、県平均との差は縮まってきています。特に国語では県平均との差は1ポイントにまで迫りました。

平成22年度に実施された「教育に関する3つの達成目標」の効果検証結果(国語と数学のテストを実施)では、小学生は県の達成目標(95%)を超える達成率となっており、中学生は国語が県の達成目標と同様の達成率となっています。

学習状況調査の結果と3つの達成目標の効果検証の結果から考察すると、基本的な学習については定着し

てきているが、そのことを応用していくという点で課題があるという実態が浮かび上がってきます。

▼質問紙調査の結果

小学5年生は、「学校に行く前に必ず朝食をとっている」と回答した児童は89・7%にとどまっていますが、「勉強が好きだ」と回答した児童は72・3%で、県平均の67・2%を上回っており、日頃の学校の授業に前向きな姿勢で取り組むことができている様子が伺えます。

中学2年生では、「学校が好きだ」と答えた生徒が76・3%で、昨年度と比較すると5%ほど上昇しています。学校生活を肯定的にとらえている生徒が増えてきている様子が伺えます。

「学校に行く前に必ず朝食をとっている」と回答した生徒は、85・6%にとどまっております。この結果は、小・中学校共に、100%になることが望まれます。

学力向上への具体的な取組

▼各学校での取組

朝の時間や授業時間の始めや終わりの短時間を使っ

て漢字や計算、英単語などの繰返し学習や確認テストを継続して行い、基礎・基本となる力を育てています。

また、自分の考えを文章にしたり、発表したりする場面を意図的に増やし、「書く力」や「話す力」を育てる取組や、夏休みを利用した「サマースクール」などを開催して、補充学習や宿題相談などを行ったりしています。

さらに、学力向上のためには、家庭との連携が重要であるという考えのもと、宿題や家庭学習・生活習慣点検カードなどを活用し、子どもたちに学習習慣や生活習慣を確立させる取組も進めています。

▼教育委員会の取組

児童・生徒に「生きる力」と「確かな学力」を身につけさせていくことを目指して、計画的に学校訪問や研修会を開催して、教師の授業力向上の支援をしています。

また、一人ひとりの子どもに、きめ細かな指導を行うために、国や県の制度を活用して教員の人数を増やすとともに、市独自の「教育支援員」制度、「学習サポー

ター」制度により、個に応じた指導の充実を図っています。

さらに、「教育課程連絡協議会」を定期的に開催し、小・中学校9年間を見通した学力向上の対策を協議しています。

教育委員会では、家庭や地域と連携した取組をさらに進めながら、基礎学力の定着、それを活用する力を育成するために、市内の小・中学校への支援を充実させてまいります。

平成23年度埼玉県小・中学校学習状況調査の詳しい概要については、12月公開予定の市ホームページ(<http://www.city.saitama.lg.jp/>)「学校教育課をご覧ください。」問合せ 学校教育課 ☎(43) 1111 内線633・FAX (43) 3188





市長就任に あたって 第8代幸手市長 渡辺邦夫

私は、10月30日に執行されました幸手市長選挙において、多くの皆様のご支援をいただき、市長に就任いたしました。これから大好きな幸手市の発展と市民生活の向上のために、自ら先頭に立って改革を進め、夢のあるふるさとづくりを実現して参りたいと存じます。

まず私は、自らのマニフェストに基づき、子育て支援の充実と教育改革、圏央道インターチェンジ周辺開発や産業振興による地域の活性化、安心安全な住みよいまちづくり、高齢者や障害者の皆様にやさしい福祉施策の充実、効率的でスリムな行政運営などを念頭に市政運営を進めて参ります。

しかし、これらのプランを実現するためには、従来の手法を踏襲するのではなく、自らが培ってきた民間の経営感覚を生かし、市民の皆様が目線に立った行政サービスの提供とコスト削減を両立させなければなりません。

それが私の目指す「幸手を改革（かえる）」ことだと確信しております。

市民の皆様が安心して生活できる街、共に夢や未来を語る街を目指し、全力で市政運営に取り組んで参ります。

人権問題は、身近なもの

人権それは愛

21世紀は「人権の世紀」と言われています。世界中全ての人の人権が尊重され、平和で豊かな社会の実現が求められることからそう言われています。しかし、すでに10年が過ぎましたが、残念なことに今もさまざまな人権侵害が存在しているのが現状です。

児童虐待やいじめによる自殺など悲惨な事件が報道されていますが、人権侵害は私たちの身近なところでも起こっています。

あなたの身の回りでも性別や年齢、出身地、外見などで気付かないうちに人を判断していることはありませんか。偏見や差別は、誤った認識や理解によって起こります。私たちは、歴史的背景や育ってきた環境、友達から得た知識などから、それが誤っているとは気付かないで、周りの人を傷つけてしまうこともあるのではないのでしょうか。そのようなことも人権侵害のひとつです。

そうならないよう、日ごろから人権意識を高め、相手の気持ちを考え行動することが大切なのではないのでしょうか。

▼12月4日から10日までは、「人権尊重社会を目指す県民運動強調週間」です。

※国では、世界人権宣言が国際連合総会で採択された1948年12月10日を記念して、毎年12月4日から10日までを人権週間と定めています。